

保護者・生徒用

愛ことば

～安倉中愛 友よ～

宝塚市立安倉中学校
校長だより
2024(令和6)年
7月19日(金)
第9号

湯浅先生、プレートありがとうございました。

「あくら ^{フォーティ}40」～終業式で伝えなかったこと～

今日で1学期が終わります。この1学期間安倉中学校の皆さんの様々な頑張る姿を見させていただきました。

まずは、全校生が一つとなって取り組んだスポーツフェスティバル。1年生から3年生までを縦割りにしたブロック制の充実をあらゆるところで感じました。各学年での取組だけでなく学年を越えた声かけや応援、協力など上級生は下級生に見本を示す素晴らしい姿を見せてくれていました。下級生も上級生に何とか追いつこうとする懸命な姿を見せてくれました。勝ち負けだけでなく、安倉中学校全体としての一体感と充実感が産み出されました。

また、先日の生徒総会でも一人一人が安倉中学校を思う気持ちが集積されて生徒会全体の大きなうねりのような力を感じることができました。立派な取組でした。生徒会の活動は総会後が大変です。執行部の人たちは、皆の思いをしっかりと受け止めて頑張ってくれています。安倉中ならではの取組もどんどん進めてくれています。頑張ってください。

また、各学年での取組もそれぞれ素晴らしいものでした。3年生の修学旅行は、仲間意識を大切にして、規律ある行動を基本として、思い切り楽しむことができました。『いちやばりちよーでー』の学年目標通り、民泊の方々とも大切な思い出ができた素晴らしいものでした。

2年生は9月からのトライやる・ウィークにおける事前訪問などの取組を進めました。社会への第1歩を見事に歩み始めています。安倉中でも真中を支える中堅学年として立派な先輩であり、後輩でした。

そして、1年生は小学校から入学したばかりではありましたが転地学習も今後につながるたくさんの種が撒かれ、芽生え始めているようです。日頃の生活でも先輩たちの背中を見ながら少しずつ中学生としての自覚も大きくなっているようです。

また、日頃の生活でもあいさつ、掲示物・花・飾りを大切にする空気感、スリッパや備品の整頓など立派な中学校生活を送っており、安倉中学校全体が一致団結して1学期本当によく頑張りました。お疲れ様でした。

これからは、明日からの夏休みに向けて、『アポロ13』ならぬ『あくら40』の話です。『あくら40』とは、『アポロ13(サーティーン)』という映画をもじってつけています。この映画は、実話とされる話に基づくものでした。その話とは・・・

1970年4月11日13時13分、米国のNASAが月面着陸を目指して3人の宇

宇宙飛行士を乗せた宇宙船(アポロ13号)が打ち上げられました。そして、月面着陸直前の4月13日に突然酸素タンクで爆発が起こり、月面への着陸は不可能となってしまいます。また、酸素不足や電力不足などにより3人の宇宙飛行士の地球への帰還も絶望的になってしまう危機的状況に陥ります。しかし、宇宙船内の3人と地球で必死の救出劇を模索するNASA司令室との様々な取組により奇跡的に地球に生還するというストーリーです。興味のある人は、是非映画を見てください。おすすめします。

今年も、この映画のタイトルと安倉中の夏休み40日間を掛け合わせて『あくら40』としました。

あ・・・安倉中愛の「あ」「い」(あいさつ・ありがとう・命を大切に(人も自分も大切に))「いじめのない(おもいやり)」

この夏休み中にも安倉中愛を発揮してください。学校内よりも地域や家庭で過ごす時間が長くなります。そんな中では、一人一人の言動そのものが安倉中学校を代表するものとなります。皆さんのたった一つのさりげないあいさつや、たった一つの交通などのルールをしっかりと守ろうとする姿勢や、たった一つの思いやりの行動で安倉中学校が判断されます。この夏休み中もさまざまなところで安倉中愛を感じられるといいですね。

く・・・工夫ある毎日

40日間という長期の休みです。宿題もありますが、是非この長期休みにしかできないことを工夫して挑戦してほしいと思っています。

まずは、想像力や創造力をめいっぱい働かせて一日の計画を立てることから始めてください。そして、できるところからでいいので動き出すこと。特に3年生は受験に向けて大切な毎日となります。できることからでいいので、何かを毎日続けてみてください。きっといい夏休みになると思います。失敗?しても大丈夫。毎日新しいスタートを切ればいいです。だらだらと何となくの毎日でなく、いつでもスタートは切れます。

ら・・・LIFE(ライフ=命)

夏休みに限りませんが、安全な毎日を送ってください。そして、かけがえのないたった一つの命を大切にしてください。

ください。交通事故や水難事故などにはくれぐれも気をつけてください。学校に隣接する下池側の信号機が点滅式に代わっており、やがてなくなってしまうと聞いています。学校としても安全のために信号機の存続を求めています、今後のことはわかりません。ですから自分の命は自分で守ること。(裏面へ)

